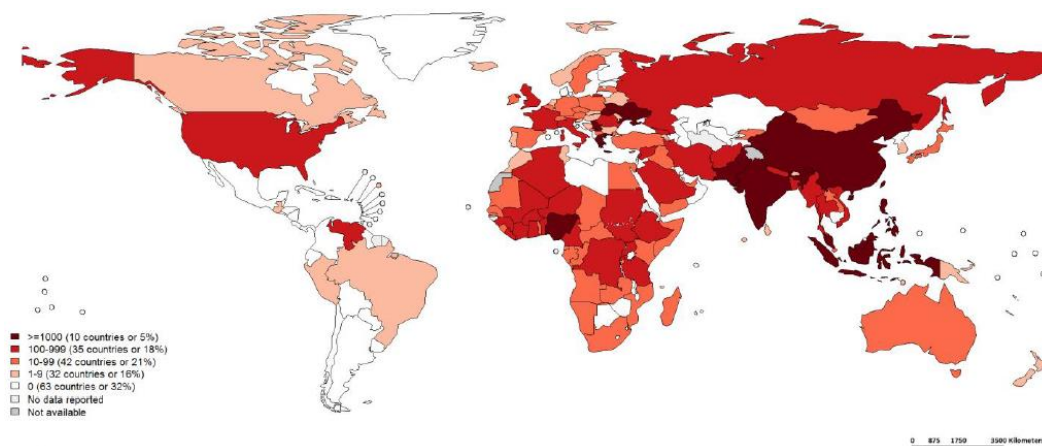


日本における麻しんの発生状況について

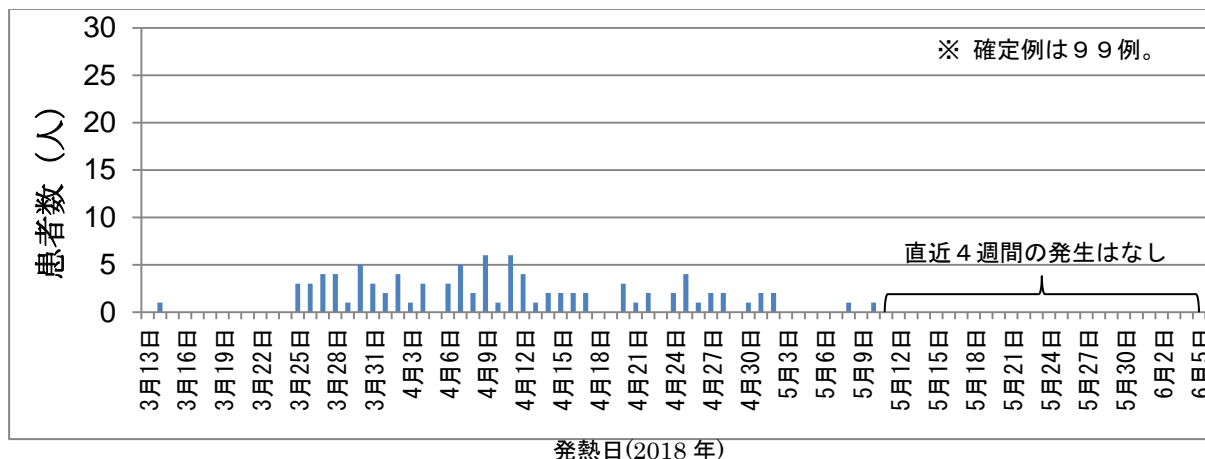
- 日本は、2015年にWHOから麻しんの排除国と認定されております。
- 排除認定されて以降、日本において発生している麻しんは、全て海外において感染した患者が、日本に持ち込むことを発端に感染した事例です。
- 今般、沖縄県を中心に感染が拡大した事例は、海外からの観光客により持ち込まれたものでした。沖縄県において拡大防止対策が適切に行われた結果、6月11日に終息宣言されました。
- したがって、沖縄県を含め日本は他国と比べ麻しんに感染するリスクが高いということではなく、麻しんが蔓延している状況ではございません。

【世界における麻しんの発生状況（平成29年9月～平成30年2月）】



出典：WHO(世界保健機関) 麻しん報告数
(平成30年4月現在;一部改変)

【沖縄県の麻しん流行曲線（平成30年6月3日現在）】



出典：沖縄県ホームページ「沖縄県における麻しん（はしか）流行の終息宣言について」
(更新日：2018年6月11日)